



2024(令和6)年度 学校だより (令和7年2月20日発行)

きぬぎむ

栃木県小山市立絹義務教育学校 〒323-0155
TEL 0285-49-0141 FAX 0285-49-2764
e-mail kinugimu@oyama-tcg.ed.jp

栃木県小山市大字福良2240番地1

発行者 校長 中島 康成



厳しい寒さの日もまだ多いですが、少しずつ陽射しも暖かさを増し、春の訪れが近いことを感じさせてくれます。本校では、保護者の皆様や学校支援ボランティアの皆様、地域の皆様に多大なご協力をいただき、ふるさと学習をはじめとした様々な体験活動を行い、特色ある教育活動を展開しています。また、見守りボランティアの皆様のお陰で、安全に登下校をすることができます。お世話になっている方々に感謝の気持ちを伝えるため、2月10日に「感謝の会」を行いました。お忙しい中ご来校いただき、ありがとうございました。今後も、ご支援よろしくお願いいたします。



おはなし会

1月22日、前期課程は今年度5回目、後期課程は2回目となるおはなし会を実施しました。ろうそくの炎が揺れる中、感情豊かに語られるお話の世界に引き込まれ、楽しい時間を過ごすことができました。読み聞かせボランティアの皆様、ありがとうございました。



全校共遊

1月28日、今年度最後の全校共遊を行いました。今回は、令和6年度の児童生徒会役員が中心となり、1年生から9年生まで一緒に、体を動かすゲームで楽しみました。最後に全員で集合写真も撮りました。9年生と一緒に撮る写真は、これが最後になります。良い思い出になったのではないかと思います。



糸つむぎ体験(4年)

1月28日、本場結城紬を織るための「糸つむぎ系」の製作技法を学ぶ「糸つむぎ体験」を行いました。「糸つむぎのさと」と、「紬織物技術支援センター」の先生方にご指導いただきました。機械でつむぐ「生糸」と比べて、繊維の間に空気が入り、軽くてやわらかい糸となります。そのため、本場結城紬は軽くて温かい着物になるそうです。太さを一定にすることが難しかったですが、ご指導を受けながら真剣に取り組みました。



いちご農家見学（3年）

1月30日、総合的な学習の時間の課題「絹のまちじまん」の一貫として、いちご農家見学を実施しました。今年度は3年生の保護者様の農園を訪問し、いちごの育て方等について教えていただきました。地域の特産品であるいちごについての理解を深めることができました。いちご狩り体験もさせていただきました。たいへん、お世話になりました。



墨付け・^{かすり}緋くくり体験（5年）

2月7日、2人の先生方にご指導いただき、「墨付け・^{かすり}緋くくり」を学びました。本場結城紬の緋模様を付けるため、染色前の糸に印を付け木綿糸で縛ります。緻密で根気のいる作業です。細かな模様を織るには、一反分の糸の墨付け・^{かすり}緋くくりには1か月以上かかることもあとと教えていただきました。



立志記念スキー学習（8年）

2月6・7日に、リステル猪苗代スキー場において、立志記念スキー学習を行いました。1日目の夜に実施した「立志式」では、一人一人が「誓いの言葉」を力強く発表し、自分の将来について真剣に見つめることができました。また、これまでの成長を見守り支えてくれた家族の大切さを改めて実感し、感謝の気持ちを深めました。

雪が降り続く2日間でしたが、インストラクターの先生方の丁寧な指導と子どもたちの頑張りで、2日目にはしっかり滑ることができるようになりました。転んだ痛みや寒さに耐えて頑張った成果を実感することができました。立志式とスキー学習を通して、心も成長した2日間となりました。



絹志会（8年）

2月12日、絹地区青少年健全育成防犯協議会の主催により、本校の8年生の立志を祝う「絹志会」を開催していただきました。会長様より、記念品の時計とお祝いの言葉をいただきました。地域の方々の温かいお心と、期待の大きさを感じました。お礼の気持ちとして、立志式で歌った合唱「My Own Road」を披露しました。絹公民館の皆様にもご協力いただきました。ありがとうございました。



【絹義務教育学校ホームページ】に掲載しています。写真等も鮮明にご覧いただけますので、ぜひご確認ください。

<https://www.city.oyama.tochigi.jp/school/compulsory-school/kinu/>

